

第4回 横浜市山下ふ頭開発基本計画検討委員会 会議録	
日 時	平成27年7月2日(木) 9時25分～10時45分
開 催 場 所	横浜商工会議所8階大会議室
出 席 者	小此木 歌藏、川本 守彦、岸井 隆幸、島田 京子、内藤 廣、藤木 幸太、 室田 昌子、森地 茂、吉田 聡 (9名) ※敬称略
欠 席 者	廻 洋子 (1名) ※敬称略
開 催 形 態	公開 (傍聴人23名)
議 題	1 開発基本計画について ア 市民意見募集の実施結果について イ 横浜市山下ふ頭開発基本計画 答申(案) 2 その他
決 定 事 項	今回委員会での意見を踏まえて資料を一部修正し、答申をまとめることについて、委員長に一任する。各委員には、答申時期・内容について事前報告する。
議 事	<p>1 開発基本計画について</p> <p><u>ア 市民意見募集の実施結果について</u></p> <p>【森地委員長】</p> <p>・森地でございます。今日はお忙しい中お集りいただきありがとうございます。さっそく議事に入りたいと思います。今回の委員会資料については、4月末から1か月間実施した市民意見募集の結果も踏まえて、各委員には既にご意見を伺っていると聞いています。本日の意見を踏まえて、委員会としての答申案の最終とりまとめにしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。それでは最初に市民意見募集の実施結果について事務局から説明をお願いします。</p> <p>【事務局】</p> <p>・資料3の説明。</p> <p>【森地委員長】</p> <p>・ありがとうございました。ただいまのご説明について何かご質問がありますでしょうか。参考資料で、個々のご意見と市の対応が整理されていますが、多くは「参考にします」や、「今後検討します」とのことですからこの場で議論するようなことは無いと思っております。</p> <p>【事務局】</p> <p>・素案で示した内容について、さらに深めてほしいというご意見や、素案には記述がなかったものに対してのご意見も多くありました。後ほど説明しますが、特にイベント系については、固有のイベントの名前を挙げたご意見も含め、基本計画素案では、記述していませんでしたが、今回反映することとしました。いずれにしても、委員長のご発言のように、いただいたご意見は庁内で共有したうえで参考にしていきたいと考えております。</p>

【森地委員長】

- ・今ご説明ございましたように何か所かご意見を踏まえての修正を、本文の方に加えてあるとのことですので、引き続き横浜市山下ふ頭開発基本計画答申（案）について、事務局からご説明いただきます。

イ 横浜市山下ふ頭開発基本計画 答申（案）

【事務局】

- ・資料４の説明。

【森地委員長】

- ・ただいまの説明を受けて、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

【島田委員】

- ・今回追記した世界が注目するエンターテインメントという点に関して、芸術文化振興の観点から意見を述べさせていただきます。外国人に日本の文化を発信し、いつでも気軽に触れることができる場の提供についての提案です。例えば、歌舞伎や文楽などといった伝統的な日本文化に対して、若者の関心も高まっているようで、先日も新木場のシネマ歌舞伎のパブリックビューイングに多くの若者が集まったとの報道がありました。この地域では主に外国からの観光客が対象となりますが、若者が伝統芸能に初めて触れる機会を作るという観点からも有効です。500～1000 席程度の小ホールを設置し、いつでも多様な分野や流派の方々が、短い一幕ものなど、通常よりも短い時間でかつ質の高い公演ができる場を作れば良いのではないかと思います。

また、神奈川県全体でみれば芝居やバレエ、オペラ等が上演できる施設がありますが、横浜市にはわりと少ないです。既存のホールとの棲み分けをどうするか十分に慎重に検討する必要がありますが、こういったパフォーミングアーツのためのホールについて、世界に通用するような施設を備えることも少なくとも検討に加えて良いのではないかと思います。

それから、これだけのスペースがある場所ですので、アフターコンベンションとしての活用も視野に入れつつ、エンターテインメントのための多目的な大規模ホール、例えば 2 万人規模程度のものもあったほうが良いと思います。ただ規模が大きくなりますと、整備や維持管理の費用もかかると思いますので、整備の仕方やアリーナ等の既存施設との役割分担も考えながら検討していただければと思います。

こういった文化芸術関係については、施設に併せて同時にエンタテインメントを支える若手エンタテイナーやアーティストの育成の場も必要かと思います。これから 5 年後、10 年後に向けて、すでに人気を博している人たちだけではなく、芸能スクールというのでしょうか、人材育成のための学校や稽古場づくりを横浜が担っててもいいのかもしれない。広い場所を必要とする芝居などの稽古のため

に高額なホールやスタジオを借りることができないような若い方たちに対しては、例えば可能ならば倉庫を活用してもらってもよいと思います。倉庫については、現代アートの作家なども活用できると思います。

また、横浜ならではのおしゃれな、あるいは外国人向けの高級イメージのレストランに対して、テレビの朝の連続ドラマ「まれ」のように、若手のシェフで力がある人たちがウォーターフロントに出店できるようなインセンティブを与える、そういう支援もあってもいいのかと思いました。

【森地委員長】

- ・ただいまのご意見は、文化面のアイデアとして 31 ページに追記してはどうでしょうか。他にはいかがでしょうか。

【室田委員】

- ・立派な報告書をまとめていただきありがとうございます。まず景観に関してですが、既にみなとみらいには非常に特徴的な景観がありますので、例えばみなとみらいの景観との一体性、ある種のストーリー性などに配慮することで、横浜中心部としてさらにインパクトのある景観を形成すること、また海からの特徴的な景観を形成するために、みなとみらいや周辺地域との景観連携といった要素をぜひ入れていただきたいと思います。二点目ですが、河川についても、将来的には是非考えていただきたいと思います。海も含めた水辺を一体的に楽しめる空間として、ここを拠点として川を遡るリバークルーズなどといった楽しめる配慮ができないかと思っています。高架道路との関係や非常に暗い感じの現状をどうするかといった課題があるので、簡単にはできないと思いますが、様々な使われ方の水辺空間があちこちでできていって、それを順番に楽しめるということができれば、大変楽しい空間になるのではないかと思います。

三点目ですが、大規模集客施設がここに出来ることで、普段見られないようなイベントやスポーツなどが見られることは素晴らしいと思いますが、大規模集客施設は交通渋滞を引き起こしやすく、一時的に人を大量に集めることによって地域での活動のしにくさや空間の魅力を損ねる状況が生じる可能性があります。従って、問題を引き起こさないよう、きちんと計画をしていく必要があると思います。また、人がたくさん集まる施設ということで、その他の周辺環境や空間に与える影響、騒音や防犯といった問題も出てきます。そういったことを全体としてよりしっかり考え、特に滞在空間を阻害しないよう、いろいろな工夫をしっかりとやる必要があると思います。

また、あわせまして滞在機能をさらに充実させることを考えてもいいのではないかと思います。個人行動タイプの機能がある程度まとまって滞在型につながっていくのだと思いますので、例えば先ほど話題に出た「食」や「健康」、あるいは「リラクゼーション」や「美容」、「予防医療」に関するもの、そういったものは一時的に集中して集まるタイプの施設ではないので、山下ふ頭のような空間

に向いていると思います。随時人が出入りする、そうすると、なかには宿泊する人、中華街や元町方面に買い物に行ったり食事に行ったりする人、あるいはみなとみらい方面まで遊びに行っていたり人などが現れて、周辺の地域全体に繋がりが出てくると思いますので、そういう繋がりが出来るようなタイプの機能をぜひ入れていただければいいと思います。

【森地委員長】

- ・ありがとうございます。事務局は何かお答えになりますか。

【事務局】

- ・山下ふ頭は現役の物流ふ頭ですので、これまで景観面の配慮は弱かったのですが、周辺のみなとみらいや大さん橋などとの関係の中でみれば、景観を非常に重視しているエリアといえます。したがって、山下ふ頭の開発にあたってはご指摘の視点も含めて庁内で勉強させていただきたいと思います。河川については昨今、再開発に伴って河川に栈橋を作るといった事例があるなど、河川と横浜港のつながりを見据えた動きが、横浜市において出てきており、そういった観点で様々な楽しみができる水辺空間の創出については努力していきたいと思います。大規模集客施設をはじめとした交通問題への対応ということでご意見をいただいたと思います。これについては 29 ページで、山下公園通りに接続する道路を第一段階に合わせて早期に整備をしていくという説明をしていますが、それだけにとどまらず、できるだけ周辺エリアとのアクセスが良くなるように、いろいろ関係機関調整、地元の皆様のご協力も得ながらぜひ精力的に取り組まさせていただければと思っております。また、滞在機能についてはおっしゃる通りで、より多くの人に横浜で滞在していただくことによって街の広がりが出てくるし、街の深みのようなものも出てくる、そういうご指摘だと思いますので、周辺とのにぎわいづくりも含めて、ぜひこれについては勉強させていただければと思います。ありがとうございます。

【川本委員】

- ・交通のターミナルといっても、山下ふ頭に来させるものと、山下ふ頭から他に出ていくものは明らかに違うと思います。そのあたりはもう少し深みをもった検討が必要なかと思えます。

一部供用エリア 13ha には、手前から緑地、賑わいゾーン、客船ゾーンおよびリゾートの空間が配置されており、また I 期のリゾートの空間は全体の 1/3 となっています。このようなゾーニングですと、実際にこれを具現化していく際の事業手法については、I 期供用開始部分と II 期、III 期とがミスマッチしないように、極めて慎重に全体的な視点で検討する必要があると思います。また事業手法の如何にかかわらずぜひともお願いしたいのは、2020 年に一部供用出来たとしても、残りの供用開始されない部分については、おそらく物流機能が残り、物流活動が行われています。I 期時点のふ頭がどういう状況になっているのか、関係者はも

ちろんですが、市民向け、県民向けにも状況をきちんと明らかにしていただければと思います。少し変な話ですけど、経済港と観光港がそれぞれ形を変えながら、ふ頭が進化していくという状況がしばらく続くと思います。それを逆手にとって、山下ふ頭は面白いところだよというような周知も可能なのかなと思いますので、そういう意味では広報活動も大事であると思います。

話題を変えますが、横浜市の実施したパブコメとしては異例なほどの意見数、800を超える意見が得られたとのことですので、詳細はまだ見ておりませんが、山下ふ頭以外の計画場面でも使える意見がかなりあるのではないかと思います。パブコメの結果は、港湾局だけで持ってしまうのではなく、他部局ともぜひとも共有をしてあげてください。よろしくお願いします。

【森地委員長】

- ・ 29 ページに「再開発の実現にむけて」というところに、I期II期の間の調整とか、物流機能と混在したときとか、そういった移行期のマネジメントの話は確かに抜けています。ありがとうございます。

【小此木委員】

- ・ 最終答申案では、交通ネットワーク形成についてかなり踏み込んだ形で載せていただいております、評価したいと思います。さらに申し上げますと、この計画の検討で、山下ふ頭近辺だけではなく、横浜駅から山下町というか山手というか、そういう範囲で交通ネットワークのあり方を考える際のウィークポイントが浮き彫りにされたのではないかと思います。この際、その補強というか再構築を、計画を通して投げかける必要があると思います。特に思うのは、観光が大切だとは言いながら、観光客の視点に立った交通ネットワークが横浜の周辺部で形成されているのかという疑問が私にはあります。港湾局だけの問題ではなく、文化観光、道路、交通などの関係者も含めて、浮き彫りにされた問題を、山下ふ頭の開発があるからやるということではなくて、開発の進捗にかかわらず進めていく必要があると思います。今まで横浜港、大黒ふ頭や南本牧ふ頭といった物流ふ頭では、まずふ頭を作ってからそこへの交通ネットワーク形成を考えてきましたが、これは開発計画の順番としては逆ではないかと。予算の関係があるからどうしてもそうなるのかもしれませんが、本来あるべき計画の進め方としてはまずインフラを整備してそこにふ頭を形成していくというのが、都市開発のあり方ではないかと思います。開発の進捗にはこれからまだ時間を要するとは思いますが、それにかかわらず交通ネットワークの形成は着実に進めるべきだと思います。

【森地委員長】

- ・ 方針2に交通ネットワークに関する記載はありますが、臨海部全体を一体化するために交通ネットワークがキーになるという格好にはなっておらず、地区内外の移動など対策が個別ばらばらに聞こえるので、その辺のニュアンスを強調した書き方にしてもいいですね。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。そ

れでは何点かご意見いただきましたが、具体的にオリンピックまでにどうするか、それが長期的な全体の計画とどうバランスするのか、また臨海部全体でどうするのかとかいった具体的話こそが重要ですので、廻委員のご意見をご紹介いただいたあと、計画の先を見据えた議論を残された時間で行いたいと思います。

【事務局】

- ・本日ご欠席の廻委員から事前にご意見を頂戴しておりますので、紹介させていただきます。

まず事業全体、にぎわいについて。若くて優秀でとんがっているソフト系の空間プロデューサーを開発初期から入れてはどうか。その人がイベントなどの企画プロデュースも行ってもよいのではないかと。広告効果も期待できる。東京ディズニーランドや USJ などのように、屋外空間にとってオフである冬ですとか、横浜ではあまり人が集まらない夜でも楽しめるようにするには、光を使った演出を考えてはどうか。初期投資はかかるけれどにぎわいに寄与するうえ、人件費など維持費の負担が少ない。海の日などテーマをいろいろ見つけて様々なイベントを実施していったらどうか。「三世代の休日」については、ターゲットを絞らないいろいろな世代の楽しみ方というのは東京ディズニーランドを参考にするとよいのではないかと。

交通関係については、山下ふ頭に来ると周辺にも行くという回遊性を作ることが大事。スカイツリーはそこに来た人が周辺の浅草や錦糸町などの方に歩いて行って、スカイツリーだけでなく周辺地域に大きな影響を与えている。

景観関係についてはあえて周辺の景観に溶け込まなくてもよいのではないかと。ランドマークとなるような景観形成が大事。

緑系については、港町であるにもかかわらず、海を身近に感じる空間が横浜には意外と少ない。先端の二つの水域は近くにカフェを作るなどして、港町らしい海を見ながら時間を過ごすことのできる空間にしてほしい。身近に海を感じる空間作りを望む。こういったご意見をいただいております。

【森地委員長】

- ・廻委員のアイデアは、少し集約しながら 31 ページに追記できるものは入れましょう。

アイデアに関してですが、誤解があるかなという気がした点があります。31 ページです。「市で独自ランキング」云々に関しては、都市ではなく臨海部についてという意図でしたし、「全国に」ではなく「世界に」です。次の「料理人…加工品作り」については、かつての一村一品運動のターゲットが東京や旅行者向けばかりでアジアに向いていなかったことが背景にあって、アジア向けといっても地方単位でなかなか出来ないであろう、味の好みがそれぞれ違うアジア人向けの加工品製作が出来るような拠点を作ったらどうかという意図で発言したものです。少し主旨が変わっていた気がしますので、長文にする必要はありませんが補

足いただければと思います。あとはよろしいでしょうか。それではありがとうございますございました。

今日何点か重要な修正意見もうかがいましたが、大変よくまとまった案がおかげさまでできたと思います。しかし重要なのはこれからです。この計画は、修正も含めてこれでご承認いただいたということにさせていただき、今後に向けて気になる点や、さらに考えたほうがよいこと、さらには夢としてどうかなどのご意見をいただいで締めることにしたいと思います。

【内藤委員】

- ・よくまとめていただいたと思っていますが、むしろまじめすぎるかな、よくまとめすぎたかなと。森地先生がおっしゃられたようにこれから未来を語るうえでの土台ができたという気がします。大きなところでいうと、これだけ大規模な計画だと、どうやって計画のダイナミズムを出すかという視点がないと、かっちりかっちりまとまってしまう。どうやったらこの計画の中にダイナミックな創造力、市民をまきこんだ創造力、そういうものが働いてくるかというのを示していないと心配だという気がします。そういう意味で、このレポートにある「ハーバーリゾート」は本当にそれでいいのか、考えた方がいいかもしれない。例えば、渋谷は「エンタテインメントシティ」を掲げ、品川は羽田を中心にしたゲートになってくるという意味での「ゲートシティ」をフラッグとして挙げています。こういった既に始動している大規模計画のフラッグを比較してみて、本当にハーバーシティ、ハーバーリゾートというのが良いのかどうか。そのあたりはこれから議論をしていくところだと思っています。以上です。

【森地委員長】

- ・ありがとうございます。

【藤木委員】

- ・内藤委員がおっしゃったように、この基本計画で良いのかわかりませんが、何となくまとまっている。正直言ってそんな面白くはないと思いますが、誰が見てもこんな方向なのかなとわかるペーパーになっていると思います。大変ご苦労さまでした。一番興味深いのは川本委員もおっしゃられていましたがパブコメです。様々な個人的要望が書いてあって本当に面白い、これをぜひ皆さんで共有したらいいなと思いました。

先ほどからこういうものがあつたらいいなとディテールの話が出ていまして、それにはすべて同感なのですが、木を見て森を見ずという言葉がありますけど、これは山下ふ頭の委員会ですけど、山下ふ頭に限らずインナーハーバーの一番とっかかりだという意識で市民の方に見てもらった方がいいのではないかと思います。ここだけで終わるのではなく、ここが始まりです。逆に言うところを失敗すると、市に対する信用がこの先なくなると思います。

どうしても観光客ということにとらわれがちですが、私はむしろ逆で、住んだら

世界一の港町横浜と言われたいなと思ってかねがね住んでいます。今の日本には、残念ながら家族という単位がなくなっていますが、一家団欒が每晚あるような家が横浜には集まっていて、しかもそこには外国人の顔もある、こういうのが理想です。彼氏と彼女の二人でいても、楽しいけど三日で飽きちゃいますよね。二人で同じ目標を指してあそこに二人で行こうねっていうと長続きする。それと同じで我々も目標を共有して、それに向かってみんなで行こうといえればいいわけです。今は、皆それぞれで抱き合うことを考えていて、そうするとどうしても抱き合えない人も中には出てくるわけです。そういう見方で計画をしていただきたいと思います。

これはディテールの部分に入りますが、横浜に来てほしい人がやはり、いると思います。観光客でいうと、今どこの国に行っても中国の方のマナーについて色々と言われています。お金を落とす量がそれに見合っているかはわかりませんが。横浜の場合も、金持ちかどうか、男性か女性か、若者か高齢者かといったセグメントをすべて網羅していくのも無理なので、ある程度ポイントを絞って考えることが必要で、皆さんでさらに検討を進めていただきたいと思います。

パブコメを見ていると、カジノは絶対反対だ、カジノだけは作らないでくれという意見もたくさんあるし、反面、ぜひカジノを誘致してほしい、世界のカジノのある華やかな街のように横浜もしてほしいという意見もたくさんあります。個人的な私の見解としては、安倍政権で現在、国土強靱化の政策の一つとして新しい観光立国が検討されておりますし、そのなかで IR 法案が国会を通過すれば一番の試金石は横浜だと思いますし、横浜の人間は誇りを持って、横浜に世界一のものを作るんだという意気込みでやるべきだと思っています。委員の方にも引き続きご協力いただいていいものを是非作っていただきたいと思います。

【森地委員長】

- ・ありがとうございます。一部の旅行者のビヘイビアの話題でいうと、10年か15年前までは、中国人旅行者の単価は安くてホテルの雰囲気も悪くなると言われていたが、今は逆に富裕層が多くみられるようになった、さらに遡ると、日本人がヨーロッパで同じように言われていた時期があり、さらにその前はイギリス人がアメリカ人旅行者は団体で来て行儀悪いなどと言っていて、さらにその前はスペイン人がイギリス人は団体で来てとんでもないと言っていた、そういう流れがありますので、あまり短期的に選り好みしていくこともないだろうと思います。

【室田委員】

- ・日本は高齢化という意味とは別の意味での成熟社会だと思いますが、その割にそういうものが感じられる空間というのがあまりないと感じます。にぎやかな場所や人がたくさん集まる場所は、もちろんあちこちにありますが、日本のいろいろな文化がきちんと感じられるところが少ないと感じます。日本にずっとある文化もですが、廻先生の指摘された一種のとんがった文化、若い人がショーなどを

ネットで発信して海外で評価され逆輸入されたような文化、そういったものもひっくるめて、成熟社会の成熟型文化だと思いますが、海外から来た方がそれに触れて日本をわかりやすく理解出来たり、日本の人たちも文化を再認識するような拠点というか空間があり、それがここでの魅力的な賑わいの創出にうまくつながるとよいと思います。先ほどあげた食、健康、美容、リラクゼーション、予防医療なども日本の文化といえますので、そういうものがうまく集まっているとすごくいいと、個人的には思っています。

【吉田委員】

- ・事前説明を受けた時に、未利用エネルギーについては下水熱だけではなく、せっかく海が近い環境にあるので海水利用も検討してはどうかと意見をさせていただきました。それが本日の資料では記載いただけているので、非常に良かったと思います。私自身も横浜市民なので、横浜駅周辺やみなとみらい 21 のにぎやかさとはまたちょっと違う、ゆっくりと楽しめるような空間がここに展開されていくとすごくうれしいと期待しています。

一部供用が 2020 年とすぐそこに迫っていると思うのですが、基本計画答申という形でまとめたものを土台に、これから作っていく関係者の目標の共有と、目標を実現するための技術とか考え方の共有、そういったものをいち早く最初で作っていく必要があると思いました。国内の取り組みを見ているとどうしても、目標はあるのかわからないなかで、個別事項を調整して行って、最後になっような問題が関係者の中で出てくるということがよくある気がしています。第一に目標の共有、それを実現するための技術、考え方の共有が必要と思いました。また、エネルギーの分野に関して言うと、ロンドンのように、ゼロカーボンデベロップメント、このエリアの開発ではネットでカーボンゼロを目指しますよと、かなり高い数値目標を立てて取り組んでいる事例もあります。この計画でも実際に数値目標を立てるかどうかは、これから検討が必要ではありますが、野望を持って展開していければなという風に思っていますので、よろしくお願ひします。

【小此木委員】

- ・先ほど申しあげましたので結構です。

【川本委員】

- ・今後計画を進めるにあたっては、いま一度、山下ふ頭の歴史や生業を必ず念頭に考えて欲しいと思います。

【岸井委員】

- ・基本計画自身はこういう形でまとめたわけですが、都心臨海部再生マスタープランの目標は 2050 年で第 1 期は 2025 年、これに対しこのプロジェクトでは 2020 年という直前の時期に引っ張られている感があります。もうちょっと長いスパンでここをどういう風に動かしていくのか、横浜市の中でも似たような開発計画との連携をどう図るかという戦略を作ることが必要ではないかと思ひます。

東京のインナーハーバーは 2020 年には相当変わると思うので、東京のインナーハーバーと横浜のインナーハーバーは何が違うのかということのアピールしなければいけないし、2020 年で開発の勢いが、いったん、がくんと落ちる可能性があるが、その時に「次は横浜だ」といえるぐらいの先を見据えた戦略を今考えておくべきではないかと思います。とりあえず 2020 年は乗っかるとしても、我々が目指すのはその先だ、と仕組みられた方がいいのではないかと。あまり 2020 年だけ意識していると埋没してしまうという感じを持っています。

【島田委員】

- 吉田委員の意見にもありましたように、最初から目標を共有することは大事だと思います。2020 年は横浜トリエンナーレ開催年でもあります。先ほど室田委員の意見にもありました日本のとんがった部分、特に現代アートなどはアジア等でもかなり注目されていると思うので、なにか発信の場として活用できるとよいと思いました。私は東京に住んでおりますが、みなとみらいを通過すると東京に比べてバギーなどの子供連れの家族が多い情景に本当に圧倒されます。そういう意味で 2020 年以降もかなり発展余地のある街なのかなと思いますので、期待しています。

【森地委員長】

- ありがとうございます。これまで何度も申し上げましたが、横浜の臨海部は公園も MM21 も国際的にみてもすごく魅力的なのに、なぜか人があまり来ない、外国人もあまり来ない、東京に比べると誘致圏が非常に狭い、これをどうとらえ、どうすればよいか常に気になります。まさに岸井先生がおっしゃったとおりで、東京臨海部は来訪者数のボリュームだけでなく種類が違うし、そこにオリンピック施設ができてさらにその傾向が強まる、その後も、現在計画されているだけで 30 数棟の高層マンションが臨海部に造られ、それらのマンションやコンドミニアムが外国人にも買われ、明らかに国際的な違う都市が出来つつある、また、国際展示場での見本市も、いつも産業というより、一般市民向け、例えばおもちゃの展示などを常時行っている、空間だけ見ると横浜のほうが魅力的だが、何か横浜と違う、これをどうするのかという話が気になるところです。対東京だけでなく、横浜の国際的な位置づけはどうで、どこに特色があるか、そのうえで横浜をどうしていくか、こういった視点を、市の各部局でぜひとも意識してほしい。マーケティングも同じ。横浜の知名度をあげるとか、来た人にリピーターになってもらうのにどうしたらいいとか、普通の観光地はみんな意識していることでも、横浜は観光客がそこそこ来ているが故にあまりそういう発想がないのかもしれない。ちなみに、何もないヨーロッパの小村でも都市計画の柱の一つは必ず観光が出てきます。観光の魅力をどうするか、観光客をどうやって連れてくるかに取り組んでいるのですが、横浜ももうちょっとそういう発想が強く出てもよい気がします。

	<p>【岸井委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京が同じように公民連携を掲げて都市開発に取り組んでいますが、東京の最近の雰囲気は、PPPだといいつつ民間に頼り切っているという感じが、ややしないでもない。ぜひ横浜においては、横浜市は何をするのかということを確認に打ち出し、公民連携をしっかりとやるというシナリオを持ち、それを周知することが必要ではないかと思います。東京都との競争という意味では、そういった視点もないと厳しいものがあるという気がします。 <p>【森地委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございました。ぜひこれから実現に向け取り組む際の参考にしていただければと思います。少し時間は早いですが、一応予定した議事すべて終了したかと思っています。今回の意見を踏まえて答申を最終的に取りまとめたかと思いますが、そう大きな修正はないかと思いますが、いつとりまとめるか、いつ答申するかということも含めて、私にご一任いただければと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森地委員長ありがとうございました。委員長と答申の日程調整をさせていただきます。答申時期については内容と合わせて委員の皆様には事前にご報告をさせていただきますたいと思います。また本日の議事録につきましては事務局で作成し、委員にご確認いただいたうえで、ホームページに公開をさせていただきます。
資料・特記事項	<p>1 資料</p> <p>(1)資料1：横浜市山下ふ頭開発基本計画検討委員会 委員名簿</p> <p>(2)資料2：第4回横浜市山下ふ頭開発基本計画検討委員会 座席表</p> <p>(3)資料3：山下ふ頭開発基本計画（素案）に関する市民意見募集の実施結果</p> <p>(4)資料4：横浜市山下ふ頭開発基本計画 答申（案）</p> <p>参考資料：市民意見募集 概要版（リーフレット）</p>